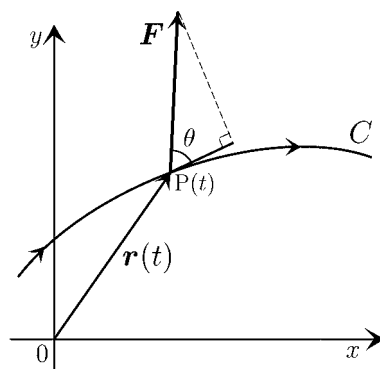


### < 平面のベクトル場の線積分 3 >

平面上のベクトル場  $\mathbf{F}$  に対し,  
 曲線  $C$  を動く点が  $\mathbf{F}$  から受ける  
 力の合計は前ページより

$$\int_C |\mathbf{F}| \cos \theta \, ds = \int_C \mathbf{F} \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} dt$$



であった。ここで  $\mathbf{r}(t)$  は  $C$  上を動く点  $P(t)$  の位置ベクトル  $\mathbf{r}(t) = (x(t), y(t))$  であり,  
 $\mathbf{F} = (f_1, f_2)$  とすると

$$\mathbf{F} \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} = (f_1, f_2) \cdot \left( \frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right) = f_1 \frac{dx}{dt} + f_2 \frac{dy}{dt}$$

であるから

$$\int_C \mathbf{F} \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} dt = \int_C f_1 \frac{dx}{dt} dt + \int_C f_2 \frac{dy}{dt} dt = \int_C f_1 dx + \int_C f_2 dy$$

となる。ここで  $d\mathbf{r} = (dx, dy)$  をベクトルと考え、

$$f_1 dx + f_2 dy = (f_1, f_2) \cdot (dx, dy) = \mathbf{F} \cdot d\mathbf{r}$$

という記号で表すと、

$$\int_C \mathbf{F} \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} dt = \int_C \mathbf{F} \cdot d\mathbf{r} = \int_C (f_1 dx + f_2 dy) \quad (\text{ベクトル } \mathbf{F} \text{ の線積分})$$

となる。この式の値をベクトル場  $\mathbf{F}$  の曲線  $C$  に沿った線積分という。

問 曲線  $C$  は右図のような反時計まわりの単一閉曲線  
 であり、 $C$  で囲まれた領域を  $D$  とする。ベクトル場  
 $\mathbf{F} = (f_1, f_2)$  に対し

$$\iint_D \text{rot}(\mathbf{F}) \, dx dy = \iint_D \left( \frac{\partial f_2}{\partial x} - \frac{\partial f_1}{\partial y} \right) \, dx dy$$

をグリーンの定理 (21 ページ) を使って線積分で表  
 せ。(これを平面のストークスの定理という。)

